

テーマ(研究課題):大動脈弁置換術における心房細動に対する外科的アブレーションの有効性についての多施設共同後ろ向き研究	
研究責任者	心臓血管外科部長 國原 孝
研究目的	心臓血管外科を有する全国の施設で過去に行われた心房細動を合併した大動脈弁置換術において、外科的アブレーションがどのような頻度でどの術式が施行されたのかを明らかにし、退院後の患者さんの状態を調査すること。
対象となる患者様	当院で2010年1月から2014年12月末までに待機的に大動脈弁の手術を受けられ、心房細動を有していた方で、2016年12月末までに退院後の観察ができた患者様。
利用する患者情報	<p>①患者背景:年齢、性別、身長、体重、NYHA分類、合併症、既往歴、心房細動種類・罹患年月、服薬歴、脳梗塞リスクスコア</p> <p>②術前検査:12誘導心電図、ホルター心電図、胸部レントゲン、心臓超音波検査</p> <p>③手術情報:手術日、術式、手術時間、輸血量、術中合併症に関する情報</p> <p>④術後～他院まで:心拍調律、人工呼吸時間、ICU滞在期間合併症在院期間、術後合併症に関する情報、退院時処方薬</p> <p>⑤術後3ヶ月後、6ヶ月後、24ヶ月後:内服薬や不整脈の有無、有害事象発生の有無、24時間ホルター心電図結果(施行している場合)、心房細動に対する非薬物治療情報(施行している場合)</p>
研究期間	2017年1月1日より2017年5月31日までとする。
個人情報の取り扱い方法	患者氏名、病院患者IDを本研究における患者IDに変更することによって匿名化し、個人を特定できない状態としたうえで、データを収集します。
個人情報の取り扱いについて異議がある場合の連絡先	(公財)心臓血管研究所付属病院 心臓血管外科部長 國原 孝 TEL:03-3408-2151(代)